

『反応場の化学』講演会のお知らせ

主催 北関東地区化学技術懇話会,

共催 化学工学会反応工学部会・反応場の工学分科会

化学工学とは主役である「化学」が十分に活躍できるように「場」を設計する学問であり、その中でも化学反応は複雑系あるため、その機構を十分理解し「反応場」を設計することが、新しい反応プロセスを開発する上で鍵となっている。特に最近の化学産業では高機能性物質の生産が求められており、より精密に制御された反応場の創出は大きな研究課題である。また、環境問題においても地球を反応場として捉え、その中で起こる反応の把握とその積極的な制御も重要な課題になってきている。本講演会では、超臨界水、凝縮相、地球環境と言った幅広い反応場での化学を取り上げ、その特徴と課題について焦点を当て、最新研究・技術および将来展望について講演していただく。

【日時】 2018年10月12日（金）14:00～17:30

【場所】 群馬大学理工学部桐生キャンパス7号館2階7207教室
(群馬県桐生市天神町1-5-1)

キャンパスマップ：http://www.gunma-u.ac.jp/campus_map/g3058

アクセス：<http://www.gunma-u.ac.jp/access#kiryu>

【プログラム】 テーマ 『反応場の化学』

講演会

14:00～14:50 「超臨界水酸化の反応場」 東京大学名誉教授 幸田 清一郎 先生

14:50～15:40 「水の電気分解の化学？水道水と家庭用電源を使って4種類の機能水を作る？」

工学院大学先進工学部 環境化学科 教授 岡田 文雄 先生

15:40～15:55 休憩

15:55～16:25 「浮揚微小液滴の化学 – マイクロ晶析プロセスへの応用を目指して –」

群馬大学大学院理工学府 環境創生部門 准教授 原野 安土 先生

16:25～17:15 「大気中での化学反応 ?東アジア域での観測からわかること?」

国立環境研究所 地域環境研究センター長 高見 昭憲 先生

交流会

17:30～19:00 桐園（桐生キャンパス内4号館1階）

【参加費】

講演会 参加費：主催・共催会員，化学工学会会員，学生は無料，その他1,000円

交流会 参加費：3,000円，学生1,000円

【申込締切】

2018年10月5日（金）

【参加申込】

次頁の参加申込書に必要事項をご記入の上、電子メールまたはFAXにてお申し込みください。

連絡担当 群馬大学大学院理工学府 原野 安土

E-mail： azuchi@gunma-u.ac.jp, FAX：

0277-30-1412

『反応場の化学』講演会 参加申込書

講演会 参加 / 不参加

交流会 参加 / 不参加

連絡先

フリガナ

氏 名

勤務先/所属

所在 〒 —

TEL:

E-mail:

会員種別 (○をしてください)

会員 (化学工学会、北関東地区化学技術懇話会) , 非会員, 学生

問い合わせ先 : 群馬大学 原野安土 Tel 0277(30)1451、Fax 0277(30)1412

E-mail : azuchi@gunma-u.ac.jp

--

反応工学部会事務局

宮本 学 (Manabu Miyamoto)

岐阜大学 工学部 化学・生命工学科

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

TEL : 058-293-2588

E-mail : m_miya@gifu-u.ac.jp